

あわら 市議会だより

12月定例会報告	2p
議会報告会	3p
委員会報告	4p
パブリックコメントの募集	7p
一般質問	8p
議案と結果	13p
意見書	13p
議会日誌・まちかどウォッチング	14p

No.31

平成24年1月16日 発行

あわら夢ぐるまど日の出

議会報告会

～・～・～・～・～ 2会場で87名が参加! ～・～・～・～・～



議会報告会 市商工会本所(12月21日)

あわら市議会として初めての議会報告会を、12月20日、21日の両日、議員が2つのグループに分かれ、20日は湯のまち公民館、21日は市商工会本所で開催しました。

報告会は、市民に日ごろの議会活動を広く知ってもらい、開かれた議会を目指すことを目的としています。両日の報告会においては、報告会を開催する趣旨説明、12月議会の総務文教、厚生経済の両常任委員会で審議した議案の報告を行い、また、市民の関心が高い、議案外の国民健康保険税改定の素案や(仮称)生涯学習館、都市計画道路の進捗などについても報告しました。参加者からは、さまざまな質問、意見、要望があり、議員が一つ一つ丁寧に説明や回答を行いました。

会場にお越しいただきましたみなさま、本当にありがとうございました。

議会報告会において、参加者にアンケートを実施し、87名の参加者のうち、67名の方から回答をいただきました。アンケート結果は以下のとおりです。

参加者は、男性が90%を超えており、年齢構成は20代～30代が3%、40代～50代が40%、60歳以上が50%、無回答が7%という状況でありました。

質問についての回答では、「議会報告会は良かったか」との問いには、64%の方が「良かった」、32%の方が「普通」と回答しており、議会報告会を開催し、とても良かったと感じています。

「内容は理解できたか」との問いには、「できた」が42%、「普通」が48%とする一方、「できなかった」が7%あり、わかりやすい資料の提供に努めてまいりたいと思います。

「次回の報告会に参加したいか」との問いには、「参加したい」が82%と非常によい結果でありました。

今後も議会報告会を開催しますので、市民のみなさまのご参加を心からお待ちしております。

11月臨時会

平成23年度一般会計補正予算(第3号)
1億6,270万円を増額!

12月定例会

平成23年度一般会計補正予算(第4号)
5,718万5千円を減額!



議会報告会 湯のまち公民館(12月20日)

- 一般会計予算総額は128億7,799万2千円に
- (仮称)生涯学習館(旧エルデイ)基本設計へ
- 学校給食センター 1億279万9千円で用地取得!
- 坂井地区介護保険広域連合、坂井地区環境衛生組合、三国あわら斎苑組合、坂井地区水道用水事務組合を統合!
- 市職員の勤務時間 1日8時間から1日7時間45分へ

平成23年12月定例会が11月29日から12月16日までの会期で開催されました。

今定例会は、当初、12月15日までの会期でありました。しかし、理事者から最終日の15日に追加議案の上げがあり、委員会審査を要したため会期を1日延長し、16日までとなりました。議案の審査関係については、平成22年度の各会計決算認定等12議案を原案のとおり認定しました。そして、各会計補正予算に関する8議案、条例の一部改正に関する2議案、規約の変更に関する1議案、組合の解散に関する3議案、財産処分に関する3議案の計17議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は8名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をたずねました。

その他、陳情1件を採択とし、議員発議により意見書1件を可決しました。

また、先の平成23年11月2日に臨時会が1日の会期で開催され、専決処分の報告1件を受理しました。そして一般会計補正予算に関する1議案、財産の取得に関する1議案の計2議案が上程され、両案とも原案のとおり可決しました。

新年のごあいさつ

議長 向山 信博

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年の初めを家族の皆様共々、お健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年3月に発生した東日本大震災は、多くの県で未曾有の被害をもたらしました。被災された方々に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、国内では、震災や原発事故の影響もあり、円高、株安等で経済は低迷し、戦後最大の危機であるといわれています。一方、国会においては、相変わらずの政権争いが続いており、国民不在の政治であると言わざるをえません。雇用の拡大も難しく、国民の不安は益々大きくなるばかりでございます。

このような厳しい状況の中で、あわら市は政府の経済対策費や合併特例債を有効に活用し、市総合振興計画を基本に、議論を重ね、順調にまちづくりを進めております。来年度以降も新規の事業が計画されておりますが、議会の役目をしっかりと果たし、市民の皆様の負託に応えるよう努力してまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶といたします。

総務文教常任委員会報告

**平成23年度
一般会計補正予算**

■総務課

防犯隊経費 50万円

委員 防犯隊に貸与する活動服のクリーニング代を計上している。しかし、来年4月から新しく防犯隊が発足するのだから、新調してもよいのではないかと。
また、新調すると幾らかかるのか。



防犯隊 年末警戒

理事者 活動服は、夏用、冬用があり、新調するとそれぞれ上下で1万円程度必要である。活動服は、

最近貸与したものもあり、まだ使えるものを厳選して再利用する。
制服については、新調するため、新年度予算でお願いしたい。

■教育総務課

**通学路防犯灯
設置工事 25万円**

委員 金津小と荻原中の通学路にそれぞれ一ヶ所と四ヶ所、LED防犯灯を設置予定であるが、設置基準を学校から500m以内としている根拠はないか。
また、それ以外にも防犯灯が必要となるところがあるのではないかと。
理事者 県の歩道除雪が、学校から500m以内となっているためである。500m以上離れている場合や集落間の防犯灯は、総務課所管の集

**公民館長賃金
229万9千円の
減額**

委員 本年、中央公民館長を文化学習課長と兼務としたための減額である。中央公民館長は、全公民館を統括する役割があるので専任の館長が望ましい。
今後の対応はどうなのか。

理事者 専任の館長は、24年度の人事異動で対応したい。

**坂井地区介護保険
険広域連合規約の
変更他7議案**

■総務課
委員 統合後、坂井市と

行政視察報告

去る11月15日から17日まで、行政視察研修を行いました。

まず、兵庫県尼崎市役所にて姉妹・友好都市交流事業の研修を行いました。

尼崎市はドイツのアウトスブルク市と姉妹都市提携を結び、現在は、青年交流がメイン事業となっています。

次に、岡山県倉敷市にある「ライフパーク倉敷」の視察研修を行いました。この施設は、5つのセンターからなる複合施設です。

特に今回の研修では、埋蔵文化財センターに重点をおき展示の仕方や運営などの視察をしました。最後に、兵庫県朝来（あさこ）市の埋蔵文化



ライフパーク倉敷

財センター「古代あさこ館」での視察研修を行いました。全国的にも数少ない「道の駅」が併設されている埋蔵文化財センターです。この施設でも子供を対象とした展示の仕方が目をひきました。

出土遺物の色や模様・風合いを身近に感じ、また子供たちが遊びながら歴史を体感できる様々な工夫がされていました。
倉敷市と朝来市の貴重なお宝でもある古墳や埋蔵文化財に触れることが出来たことは、今後のあわら市埋蔵文化財センター整備に向けて、大いに参考になると思います。

厚生経済常任委員会報告

**平成23年度
一般会計補正予算**

■市民生活課

**デマンド交通
対策費251万円**

委員 停留所の標識について、交通弱者が利用するため、わかりやすく、目立つものにしてほしい。
また、集落の停留所位置を早く周知すべきである。

理事者 停留所の数は、現在の約100ヶ所から200ヶ所を超える予定である。市民には、ポストやリーフレットで周知徹底を図りたいと思っている。

※デマンド交通とは

電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態。

あわら市の場合、タクシー車両を利用した乗合バスの運行となる。

■子育て支援課

**子ども医療費助成
費570万円追加**

委員 昨年の途中から助成対象者を中学3年生まで拡大している。助成額が想定より増加したのには、過度の受診が原因ではないのか。また、歯科受診が増えているのか。

理事者 過度の受診が原因ではなく、本年、夏風邪の一種である手足口病が流行ったため、助成額が増加した。
歯科受診の動向は、今後調査を検討したい。

■農林水産課

**農業委員会事業用
消耗品35万7千円**

委員 具体的な使途は何

あわら市の負担割合はどのようになるのか。また、介護保険の負担割合を見直すべきではないかと。

理事者 負担割合は、現在の割合をそのまま引き継ぎ、スタートさせることに決定している。

介護保険の負担割合は、統合後に見直しを行う。

■財政課

**モーターボート
競走事業撤退**

理事者 ボート事業（あわら市分）については、ここ数年赤字続きで、基金が底をつき今後の好転も期待できないことから、撤退を予定している。
撤退に伴う条例改正を3月議会に上程する予定である。

行政視察報告

去る11月15日から17日まで、行政視察研修を行いました。

まず、岡山県総社市にあるNPO法人「吉備野工房ちみち」を視察し、内容は、オンパク（温泉泊覧会）の手法を用いた地域づくり、人づくりについてでした。

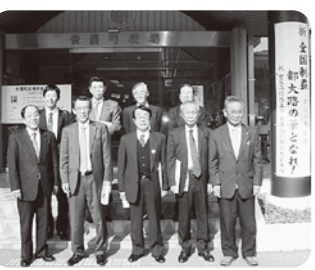
次に、島根県大田市で観光の推進及び大田ブランドについて視察研修を行いました。

大田市は、産業が少なく、収入源が公共事業などの公的割合が非常に高いという現状でした。

市外からお金を獲得するための一つの取り組みが、大田ブランドです。県外で通用する商品づくりに加え、首都圏、広島圏をターゲットにした販



市民検診



世羅町役場

路拡大の取り組みでした。最後に、広島県世羅（せら）町を訪れました。世羅町は、デマンド交通を実施しています。現在は、利用者の固定化及びデマンド交通に慣れたこともあり、スムーズな運行となっています。
スタート当初は、行政やタクシー業者等で組織する運行委員会を毎月開催し、協議しながらの制度構築だったようです。
また、アンケート調査を実施し、住民ニーズを把握するなど、すばらしい交通システムであると感じました。

決算審査特別委員会報告

■総務課

防災資機材等の整備事業補助

世帯数が多い地区も、少ない地区も一律同じ条件となっていることから、不公平感があります。よって、地区の状況に応じた補助内容になるよう、見直しを求めました。

■監理課

市が借りている土地

賃借している土地の中には、現在使用しておらず、不要な借地もあると考えられます。よって、各課に共通することでありませんが、借地の内容を十分精査し、不必要な土地については、返還も検討するよう要望しました。

■財政課

平成22年度末の地方債残高

市全体の地方債残高は、約300億円です。今後も、旧エルディの改修や給食センターの建設など、平成25年度までに大きな事業が計画されています。合併特例債といえども、その3割は市の実質負担です。今後の事業遂行にあたっては、真に必要な事業に充当するなど取捨選択するよう要望しました。

■収納推進課

市税の現年度分の収納率

平成22年度の徴収率が97.74%と大きくアップしています。このことは、収納推進課を設置し、

■民生生活課

公害対策事業

現在は、公害測定の実行のみを行っています。調査のみを行っています。今後は、測定結果に基づいた分析もしっかり行い、市の環境対策にあたってもらうことを要望しました。

■福祉課

生活保護関係

生活保護費の支給額は、約2億3千万円となっています。この10年間で、倍増となっていることです。今後は、生活保護者の自立を更に

■子育て支援課

保育料の滞納

促進する対策を要望しました。昨年は発生していた未収金が、現時点で完納となっていました。担当課の保育料徴収姿勢について大変評価をするものです。今後も、未納を発生させないことを期待します。

■健康長寿課

国民健康保険事業

今後は、保険料の見直しが必要になるなど、大きな転換期を迎えることとなります。よって、徴収率のアップ、医療費の分析、受診しやすい健康診断の取り組みなど、総合的な取り組みを要望しました。

■農林水産課

農業団体等への事業補助金

補助金の支出に当たっては、徹底したチェック、検証を行うよう意見がありました。

■建設課

除雪対策事業

除雪にかかる地域への補助を積極的に、地域と連携した除雪体制を行うようとの意見がありました。



除雪の様子

■スポーツ課

剣岳グラウンドの利用状況

最近、地区体育祭及びかりんて祭開催時の駐車場としてしか利用されていません。グラウンドの借上げについて、再検討を要望しました。

各所管の審査においては、財政的見地はもちろんです。事務事業の執行方針等について、多くの指摘・要望等を行っています。後年度の予算編成や行政執行に活かされることを期待します。

市民のニーズを的確に把握し、優先順位付けによる事業の取捨選択、更には、創意と工夫により一層の効率化と徹底した節減・合理化を切に望むものです。

議会活性化特別委員会報告

当委員会は、議会を活性化し市民に開かれた議会とするために、議会基本条例の制定をめざして引き続き協議を続けています。10月以降12月末までに9回の委員会を開催しました。

なお、次に記載している、行政視察及び講演会も実施しています。

これらの視察や講演の成果を取り入れて、3月議会では議会基本条例を制定できるよう引き続き協議を続けていきます。

行政視察

10月24日、25日において、議会改革で全国トップクラスとされている京都府京丹後市及び三重県伊賀市を行政視察しました。

両議会とも、市民参加を進めるために「議会報



伊賀市 行政視察



講演会の様子

告会」を活発に行っています。特に、京丹後市では、年間48回も開催しています。「議会報告会」を開催することにより、「市民の目線で議員が評価されるようになる」「議員のレベルアップが求められる」とのことです。

また、京丹後市では、理事者が議員に対し、予算についての詳細な説明資料を作成していることに注目しました。あわ

講演会

11月22日には早稲田大学マニフェスト研究所客員研究員中尾修氏を招いて、議員と幹部職員を対象に講演会を開催しました。

中尾氏は、全国で初めて議会基本条例を制定した北海道栗山町議会の前事務局長で、「地域主権を担える議会となるためには、議会の監視機能を強化するとともに、政策立案能力を高めることが必要。そのためには、市民への情報公開を徹底し、市民との意見交換会などで市民参加を図っていくことが求められる」と強調されました。とても参考になる内容でした。

パブリックコメントを募集します!

あわら市議会では、議会の役割や責任を明確にし、市民に開かれた議会のあるべき姿を定める「あわら市議会基本条例(案)」をとりまとめましたので、このことについて、広く市民のみなさまからご意見を募集します。

- ◆ 案件名 あわら市議会基本条例
- ◆ 内容 情報公開や市民参加の推進など、公平かつ公正で透明な議会運営を図り、市民生活の向上と市政の発展に寄与するため、議会の運営に関する基本的事項を定めるものです。
- ◆ 期間 平成24年1月20日(金)～2月2日(木)
- ◆ 閲覧 募集期間中、次のところで閲覧できます。
 - 議会事務局 ●市民生活課窓口及び市民生活課芦原分室
 - 市のホームページ(<http://www.city.awara.lg.jp/>)
- ◆ 提出 募集期間内に、議会事務局へ直接持参いただくか、郵送、FAX、E-Mailでご意見をお寄せください。(その際、住所、氏名及び連絡先を明記してください。)
- ◆ 問合せ あわら市議会事務局 電話73-8045 FAX73-1222 E-Mail gikai@city.awara.lg.jp

市政について問う!

12月の定例会では、8名の議員による一般質問が行われました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



■牧田 孝男 議員
●(仮称)生涯学習館二階の活用について



■北島 登 議員
●給食のあり方について



■吉田 太一 議員
●LED照明の導入について



■笹原 幸信 議員
●幼保一体化と施設の整備について



■山田 重喜 議員
●国民健康保険の運営について



■八木 秀雄 議員
●平成24年度からのデマンド交通についての協議の内容と検討課題について



■山川 知一郎 議員
●国民健康保険税改定について
●デマンド交通について
●防災対策の見直しについて



■卯目 ひろみ 議員
●高齢者福祉向上の対策について
●(仮称)生涯学習館の整備について
●デマンド交通対策について



吉田 太一 議員

LED照明を 導入する考えは?

吉田 蛍光灯3本の所をLEDなら2本で同等の明るさを確保でき、消費電力も3分の1になって、約60%の節電が可能になる。

寿命が蛍光灯の場合1万時間程度だが、LED灯は約4万時間で、1日12時間点灯しても、約10年間交換の必要がなく、長寿命というのが特徴である。紫外線や赤外線がほとんど含まれていないので、昆虫を寄せ付けない、ちらつきがないので目に優しい、水銀などの有害物質による人体被害の可能性



農業者トレーニングセンターのLED照明

が少ないといった特徴もある。

LED照明は、電気料金が節約できるだけでなく、さまざまな面でメリットが期待できる。将来の負担を考えたときLED照明は、エネルギー効率が高く、長寿命・二酸化炭素削減など、地球環境問題にも対応するため、市としても、有効なLED

Dの導入を公共施設や街灯に積極的に展開すべきではないか。

総務部長 受付窓口など、比較的点灯時間の長い箇所については、早い時期の導入に向けて検討したいと考えています。その他の公共施設については、照明機器の更新時期にLED化を進めたいと考えています。



笹原 幸信 議員

金津地区の 幼児園整備の 考えは?

笹原 幼保一体化と金津地区の幼児園建設は、どうなっているか。またどこに建設するのか。

市民福祉部長 現在、芦原地域では幼児園において一体的に幼児教育を実施していますが、金津地域においては4歳までは保育所、5歳児は幼稚園となっています。金津地域での保育所と幼稚園の一体化は国の平成25年度からの導入を予定している子ども園構想にあわせて、目標を平成26年度としています。

施設整備については、細呂木、金津東及び伊井保育所では、保育室や給食室等の施設整備を行うことなく、現有施設で5歳児を受け入れることが可能です。



金津保育所

可能ですが、金津地区においては、200人の園児が予測されるため、私立保育所の白藤保育園、妙安寺保育園に、受け入れ増をお願いしています。

それでも160人規模の園児が入所できる施設が必要となり、現金津保育所の敷地は手狭であるため別の土地に建設する必要が生じています。

現在、金津小学校近くの市の所有地を含めて、

複数の候補地を考えていますが、出来るだけ早く選定し平成24年度には、基本設計を策定したいと考えています。

また、将来的な少子化による私立保育所への影響に対しては、公立保育所の定員調整を適宜行い、私立保育所が健全かつ安定的に運営できるように対処していく必要があると考えています。



国保税の改定は どうなるのか？

山田 平成24年度予算において、保険税の改定はどうなるのか。また、滞納に対する施策はどうなっているのか。

市長 平成23年度決算見込は、単年度赤字が約2億円となり、基金金額を繰入れても、8千500万円の不足となります。

以後、現状のまま放置すると平成24年度末では3億4千500万円、平成25年度末では6億6千700万円の累積赤字になると見込んでいます。

このことから、国保財政の健全化を図るうえで保険税の見直しは、不可避となりますが、不足する額の全部を保険税で賄うことは、国保加入者に著しい負担の増加を強いることになります。

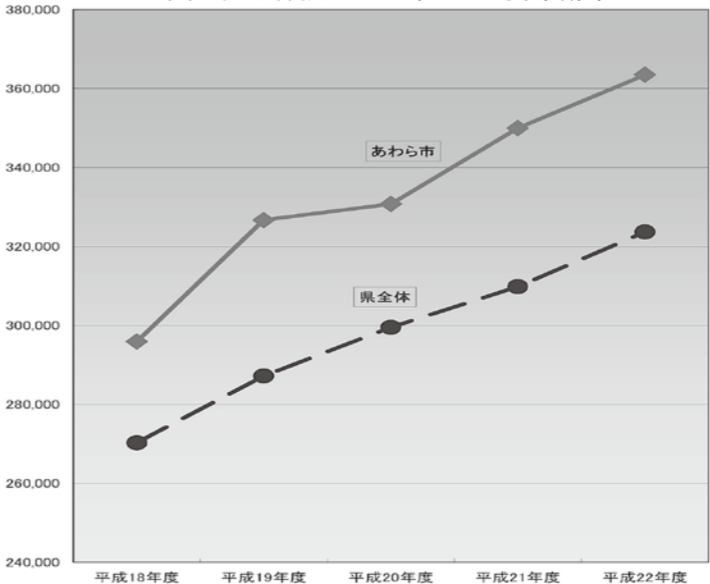
このことから、急激な負担の増加を緩和するため、一般会計からの法定外繰入を行いながら、

平成25年度末で収支バランスを図る改定試算を考えています。

市民福祉部長 滞納

者の具体的な対策としては、新たな滞納者には年2回の納税相談を行うほか、悪質な滞納者には財産調査のうえ、差押えなどの強制手段を行っています。

国民健康保険 一人当たりの療養諸費



原発事故対策は！

化していますので、市長会を通じて更なる補助を要望しています。

国保税の減免については、既に43・5%の世帯について軽減を行っており、更なる減免措置の拡大は困難であると考えています。

山川知 原発事故に

備えた緊急防護措置区域が原発から30キロまでに拡大され、事故が起これば数十万人が避難しなければならなくなる。原発事故に備えた防災対策の見直しは、どうするのか。

また、今後は原発ゼロを目指すべきと考

山川知 示されてい

る料金案は高すぎる。高齢者の足を守るために、無料か、現行のコミュニティバスと同じにすべきである。また、高校生も通学に利用しており、運行時間も拡大すべきではないか。

市民福祉部理事 料金

は適正であると考えています。運行時間については、引き続き検討したいと思います。



デマンド交通は、 どのように 運行するのか？

八木 来年4月から始まるデマンド交通の運行方法、料金等はそのようになるのか。

また、交通弱者のためにも、玄関先から玄関先まで運行を行い、利便性の向上を図ることができないのか。

市民福祉部理事 運行

については、平日のみを予定しており、基本的には、午前8時から午後5時までとなります。

また、利用料金については、9月議会までのご指摘や地区区長会からの

ご意見等も踏まえ、一人乗車の場合は、当初案から200円引き下げ、

一般で一乗車600円、65歳以上の高齢者等で一乗車400円、複数人乗車の場合は、それに連動し、一般で一乗車300円、65歳以上の高齢者で200円と設定したいと考えています。

次に、停留所設置の必要性については、市内全体の公共交通体系への影響等を考慮し、停留所方式を採用するものです。

現行のコミュニティバスの乗降調査を踏まえても、利用目的の多くは、高齢者の通院利用であり、市内医療機関へ停留所を重点的に設置することで、利用者の利便性の向上を図っていきたいと考えています。



視察先 世羅町の共同予約・配車センター

ます。

なお、本市としては、この事業を一般乗合旅客自動車運送事業として、市全体の公共交通体系の中では、いわゆるタクシー車両を活用した乗合バスと位置づけています。

従いまして、玄関先から玄関先までの運行方式、いわゆるドアツードアによる運行は、現時点では考えていませんので、ご理解をお願いします。



健康長寿祭は このままで 良いのか？

卵目 健康長寿祭のスタイルは今のままでよいのか。参加者を増やすために、変更の考えはないか。演歌歌手のステージ発表も良いが、元気をもらえるような、パトントワリングチームなど、誰でもが楽しめる企画を考慮しては。

また、地区ごとに、地元の温泉などでゆっくり過ごしてもらおう企画はどうか。

町には

「たまり場」が必要である。

卵目 エルディ跡の複合施設、(仮称)生涯学習館について、施設1階に誰でもが少し集まれる多目的のミニスペースを作っては。

市長 3階には、市民文化研修センターがあるので、その場所を利用していただきたい。しかし、基本設計の中で皆様としっかり協議していきます。

オンデマンド方式 を取り入れる 考えは？

卵目 デマンド交通対策として、東大が開発したオンデマンド交通システムを調査研究して、施策に取り入れる考えは。

市民福祉部理事

IT技術を活用した新システムである。一番のメリットとしては、導入費用やランニングコストが大幅に削減されることにあるが、タクシー事業者の既存の予約運行管理システムに準じたものであるため、今後とも慎重に検討を重ねていきます。



国保税の改定は どうなるのか？

山川知 国保加入者の負担は限界。国保制度は国が作ったものであり、財政的にも国が責任を持つべきである。国及び県に負担増を求めるとともに、一般会計からの繰り入れも増やし、値上げを抑えるべきではないか。

市民福祉部長 国保会計への国の支出は23・7%となっていますが、全国的に国保会計は悪

デマンド交通は、 利用しやすく すべき！

山川知 示されている料金案は高すぎる。高齢者の足を守るために、無料か、現行のコミュニティバスと同じにすべきである。また、高校生も通学に利用しており、運行時間も拡大すべきではないか。

市民福祉部理事 料金

は適正であると考えています。運行時間については、引き続き検討したいと思います。

原発事故対策は！

化していますので、市長会を通じて更なる補助を要望しています。

また、今後は原発ゼロを目指すべきと考

山川知 示されてい

る料金案は高すぎる。高齢者の足を守るために、無料か、現行のコミュニティバスと同じにすべきである。また、高校生も通学に利用しており、運行時間も拡大すべきではないか。

市民福祉部理事 料金

は適正であると考えています。運行時間については、引き続き検討したいと思います。



デマンド交通は、 どのように 運行するのか？

八木 来年4月から始まるデマンド交通の運行方法、料金等はそのようになるのか。

また、交通弱者のためにも、玄関先から玄関先まで運行を行い、利便性の向上を図ることができないのか。

市民福祉部理事 運行

については、平日のみを予定しており、基本的には、午前8時から午後5時までとなります。

また、利用料金については、9月議会までのご指摘や地区区長会からの

ご意見等も踏まえ、一人乗車の場合は、当初案から200円引き下げ、

一般で一乗車600円、65歳以上の高齢者等で一乗車400円、複数人乗車の場合は、それに連動し、一般で一乗車300円、65歳以上の高齢者で200円と設定したいと考えています。

次に、停留所設置の必要性については、市内全体の公共交通体系への影響等を考慮し、停留所方式を採用するものです。

現行のコミュニティバスの乗降調査を踏まえても、利用目的の多くは、高齢者の通院利用であり、市内医療機関へ停留所を重点的に設置することで、利用者の利便性の向上を図っていきたいと考えています。



視察先 世羅町の共同予約・配車センター

～議案と結果～

11月臨時会【11月2日提出・同日議決】

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第74号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	-	受理
議案第75号	平成23年度あわら市一般会計補正予算（第3号）	総務文教	可決(多数)
議案第76号	財産の取得について（学校給食センター建設に係る用地取得）	総務文教	可決(多数)

12月定例会【継続審査及び11月29日提出・同日議決】

議案第49号	平成22年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	可決(多数)
議案第50号	平成22年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	可決
議案第51号	平成22年度あわら市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	可決
議案第52号	平成22年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	可決
議案第53号	平成22年度あわら市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	可決
議案第54号	平成22年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	可決
議案第55号	平成22年度あわら市モーターボート競走特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	可決
議案第56号	平成22年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	決算審査	可決
議案第57号	平成22年度あわら市水道事業会計決算の認定について	決算審査	可決
議案第58号	平成22年度あわら市工業用水道事業会計決算の認定について	決算審査	可決
議案第59号	平成22年度あわら市農業集落排水事業会計決算の認定について	決算審査	可決
議案第60号	平成22年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	決算審査	可決
議案第86号	あわら市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	-	可決(多数)

【11月29日提出・12月15日議決】

議案第77号	平成23年度あわら市一般会計補正予算（第4号）	総務文教・厚生経済	可決(多数)
議案第78号	平成23年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	厚生経済	可決
議案第79号	平成23年度あわら市モーターボート競走特別会計補正予算（第1号）	総務文教	可決
議案第80号	平成23年度あわら市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	厚生経済	可決
議案第81号	平成23年度あわら市水道事業会計補正予算（第2号）	厚生経済	可決
議案第82号	平成23年度あわら市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	厚生経済	可決
議案第83号	平成23年度あわら市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	厚生経済	可決
議案第84号	平成23年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算（第1号）	厚生経済	可決
議案第85号	あわら市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決(多数)

【12月15日提出・同日議決】

発議第5号	緊急事態基本法の早期制定を求める意見書	総務文教	可決
-------	---------------------	------	----

【12月15日提出・12月16日議決】

議案第87号	坂井地区介護保険広域連合規約の変更について	総務文教	可決
議案第88号	坂井地区環境衛生組合の解散について	総務文教	可決
議案第89号	坂井地区環境衛生組合の解散に伴う財産処分について	総務文教	可決
議案第90号	三国あわら斎苑組合の解散について	総務文教	可決
議案第91号	三国あわら斎苑組合の解散に伴う財産処分について	総務文教	可決
議案第92号	坂井地区水道用水事務組合の解散について	総務文教	可決
議案第93号	坂井地区水道用水事務組合の解散に伴う財産処分について	総務文教	可決

意見書

●「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書

市議会では、次の趣旨により国へ意見書を提出しました。

「要旨」

東日本大震災における政府の対応は、当初「想定外」という言葉に代表されるように、緊急事態における取組の甘さを国民と世界に知らしめる結果となった。

よって、政府及び国会におかれては、「緊急事態基本法」を早急に制定されるよう強く要望する。

「提出先」

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣 ほか



牧田孝男 議員

市の文化財の展示方法は？

牧田 購入したエルディの利活用に関し、あわら市は、二階をわがまちの歴史を展示する計画としている。歴史的に価値あるものが展示され、市の歴史を目で見ることができるようになることは、こども達を含めた市民の「まち」に対する愛着を深めるだろうという意味において、良いことだと思う。しかし、展示の方法及び構想は、どのようなものか。



旧 金津ショッピングセンター エルディ

教育部長 文化財の展示方法は、約500㎡のスペースで、展示部門では重要文化財の特別展示のほか、一般展示、収蔵展示及びロビー展示とし、テーマ性を加味した内容を考えています。併せて、体験コーナーとして、勾玉（まがたま）作りや火起こしなどを体験できるスペースを取り入れることなども検討しています。展示構想につきましては、「飾る」「作る」「暮らす」などのテーマ展示に加え、「原始」「古代」「中世」「近世」の通史展示を考えているところがあります。また、スポット的な展示としては、金津祭りの本陣飾りのほか、製鉄や須恵器窯の生産遺跡の展示を考えています。なお、動きのある展示や見て興味が湧くような展示、昔の暮らしが想像できる展示など、今後は専門家の意見を聴きながら整備して参りたいと考えています。

新給食センターは、冷凍食品の割合が増えるのでは？

北島 給食センター方式となった場合、3千食を作るようになる。よって、冷凍食品や加工食品の割合が増えるのではないかと。また、自校方式の継続の基準はどのようになっているのか。

教育部長 新たに建設する給食センターでは、衛生的に手作りができるスペースを設けるとともに、蒸し物や焼き物が可能な調理器具を導入する計画です。この結果、メニュー数

も格段に増え、併せて、冷凍食品の使用割合も減ってくることになるかと考えています。いずれにしても、更に、給食センター整備にあたっては、できる限り手作りで、安全で美味しい給食が提供できるように計画を進めていきたいと考えています。自校式の継続については、まだ決定しているものはありませんし、その基準を設けているわけではありません。仮に、完全給食が実施されている学校において、自校式給食の継続希望があれば、設備老朽化の進行状況や施設が学校給食衛生管理基準に適合していないことなどを十分に説明したうえで、給食センターへの移行に向けて協議していきたく考えています。



新給食センター 建設用地（春宮地係）

議会日誌 おもな会議のみ掲載

10月5日	決算審査特別委員会 (以下10月11日、13日、14日、20日、21日、11月1日開催)
11月2日	議会運営委員会、全員協議会 第56回議会臨時会 総務文教常任委員会 市町議会議員合同研修会 議会活性化特別委員会 (以下11月11日、21日、24日、12月5日、13日、16日、26日開催)
11月4日	総務文教常任委員会
11月15日	行政視察(17日) 厚生経済常任委員会 行政視察(17日)
12月2日	議会運営委員会、全員協議会 第57回議会定例会(閉会)
12月5日	第57回議会定例会(一般質問)
12月6日	広報編集特別委員会
12月7日	総務文教常任委員会
12月8日	厚生経済常任委員会
12月9日	厚生経済常任委員会
12月12日	広域事務調査特別委員会
12月14日	議会運営委員会
12月15日	全員協議会
12月16日	第57回議会定例会(30日)
12月16日	総務文教常任委員会
12月20日	議会運営委員会、全員協議会 第57回議会定例会(閉会)
12月21日	議会報告会(芦原会場)
12月22日	議会報告会(金津会場)
12月26日	広報編集特別委員会
12月27日	広報編集特別委員会

まちかどウォッチング

「議会報告会」

12月20日芦原会場、21日金津会場と2ヶ所で議会報告会を開催しました。

そこで、会場に来ていただいた市民の方にインタビューを行いました。

ほとんどの皆さんが、「このような報告会をやっていただける事は大変良い。」「広報等の活字では解りにくいが、直接疑問点を聞かせていただけるので大変わかりやすい。」「このような報告会を、定例議会終了後、毎回開催して欲しい。」との意見もありました。

今までの議会は、何をしているのか、委員会等で議員はどのような意見を述べているのかが、見えなかったのが現状です。

開かれた議会、議員の活動が目に見えることによって、議会の現状を市民の皆さんに理解していただけると思います。

平成24年4月に施行予定である「議会基本条例」は、当たり前のことを条例化し、議員各自が活動を行っていくものであります。市民の代表である議員の活動もこれから変わることだろうと思います。(吉田)



編集後記

あけましておめでとうございます。昨年、東日本大震災また集中豪雨、海外では、タイでの大洪水等々で多大な被害が起き、一日も早い復興を心から祈ります。

皆さん、少女漫画「ちはやふる」を読んだ事がありますか。累計550万部を突破し漫画大賞を受賞したものです。この漫画の中では、福井弁が出たり、JR芦原温泉駅、駅前商店街やレンゴウグラウンド付近の桜並木が出たりしています。あわら市出身でこの漫画の編集者である富沢絵美(旧姓坪田)さんが小学生時代開催された、百人一首のかるた大会に出場した事や、高校入学と同時にかるた部を立ち上げた実体験がストーリーの中に色濃く反映されています。現在関東地区では、アニメ化され、TVで放映されておりブームが巻き起こることが期待されています。この漫画では、吉崎御坊やあわら温泉が舞台となっており、それが起爆剤となり観光が増える事を期待します。(坪田)

編集・発行責任者
市議会広報編集特別委員会

- 議長 向山 信博
- 委員長 笹原 幸信
- 副委員長 牧田 孝一
- 委員 吉田 隆洋
- 委員 杉本 一郎
- 委員 山本 正武
- 委員 坪田 ひろみ
- 委員 卯目 ひるみ

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

